

【港南区】平成 28 年第 2 回区づくり推進横浜市議員会議
議事録

開催日時	平成 28 年 6 月 24 日（金） 午後 2 時 30 分～午後 4 時 00 分
場 所	港南区役所 3 階 2 号会議室
出席者	<p>【座長】安西英俊議員</p> <p>【議員：4 名】 田野井一雄議員、みわ智恵美議員、瀬之間康浩議員、山田桂一郎議員</p> <p>【港南区：30 名】 齊藤貴子区長、高田靖副区長、水野哲宏福祉保健センター長、黒澤孝福祉保健センター担当部長、黒田浩港南土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 28 年度個性ある区づくり推進費の執行計画について</p> <p>2 平成 28 年度港南区に係る予算の全体像について</p> <p style="text-align: right;">（佐藤総務課長説明）</p>
発言の 要 旨	<p><議題 1 ></p> <p>山田議員：災害時も地域で見守り推進事業で、6 月 16 日の区防災対策連絡協議会の中でも出たが、災害時の聴覚障害者への対策はどのようになっているのか。</p> <p>榊原高齢・障害支援課長：災害時の緊急対応ですが、今回の熊本地震では全国に手話通訳の派遣要請があり、本市からも派遣しており、主に避難所で活動しました。横浜で大災害があっても同様の対応がなされるかと思えます。</p> <p>山田議員：聴覚障害者が病院での手話の導入を希望していることについて、消防局では依頼があれば手話通訳者を派遣しての対応が可能とのことである。病院と地域で手話のできる方とのつながりが大事という意見があるが、港南区として、病院での手話通訳の要望に対して、どう連携を進めていくのか。</p> <p>榊原高齢・障害支援課長：生まれながらにして耳が不自由な方は手話を使われる方も多いですが、一方で中途障害の方であっても手話の習得は難しく、実際には筆談も多い状況ですので、医師に手話の習得を積極的に働きかけるのは難しいと考えております。手話サークルと聴覚障害の方々とは、日常的に密接な関係を持って</p>

いて、手話サークルにこちらから手話習得のための講師等を依頼する際には、必ず当事者の方を通し、話を進める流れになっております。この場合区社会福祉協議会で手話サークルの登録を受けておりますので、私どもが区社会福祉協議会と当事者の方々を通じ手話サークルとつなげてまいります。

山田議員：毎年要望があがっているのでは是非よろしくお願ひしたい。

次に総合案内充実事業について、総合案内に接遇経験豊富なコンシェルジェが配置されているが、具体的にはどのような市民からの要望がコンシェルジェから上がってきているのか。

川井区政推進課長：ひまわりコンシェルジェは、区民の皆様が来庁した際、一番先に区民の皆さまに接する「区役所の顔」でもあります。そのため、常日頃から明るく挨拶、声掛けを行い、来庁された区民の皆さまが気持ちよくご用件を済ますことができるよう窓口案内に努めております。区民の皆さまからの問い合わせや来庁された時の声は、例えば今の時期ですと国民健康保険料額決定通知書などが出ており、その時々々の区役所からのお知らせや通知により来庁されるお客様が多く、その際丁寧に窓口のご案内を行っております。コンシェルジェからは毎日、どの窓口にお客様が多かったとか、窓口に対するお褒め、おしかり、暑い日は待合が暑い、などの言葉をいただいたと報告を受けています。

山田議員：ひまわりコンシェルジェから区や職員への改善提言はどのようなものが出ていて、どう改善したのか。

川井区政推進課長：お褒めの言葉をいただいたらその窓口にお伝えし、それが職場のサービス向上の励みになり、お叱りの言葉は、なぜ苦情につながったのかを丁寧に伝えし、それを受けて職場の方でも改善につながるような、そして区役所全体として窓口サービスの向上につながるよう、つなぎとしての役割をしています。

山田議員：今後も改善し、快適区役所を推進して欲しい。

みわ議員：区で育てにくさを感じる子育てへの支援事業を行っているのは保護者の方々にとってありがたい。養育者が理解を深めるための講座や相談会に加え、発達障害相談会をされるということで、発達障害について少しずつ理解が深まっているのはすばら

しい。幼稚園や保育園の保育者の方々からの相談を受けることはできるのか。また、保護者が個性だと思っっているような場合、早めに障害を見つけるために専門家の方が保育園や幼稚園に行き保育者の方々と一緒に子ども達の状況を見るような支援は個性ある区づくり推進費に入っているのか。

米岡こども家庭支援課長：保育園、幼稚園、学校については療育センターで巡回相談を行っております。その中で具体的に保育士達の接し方なども指導しております。保育魅力アップ事業の「保育の質の向上」の中に公立保育園を中心として発達障害系の啓発や接し方について、療育センター等も入りながら研修や相談に乗る機会を設定しております。

みわ議員：保育している側が発達障害に気が付き、相談した方が良いと思う場合に家庭につながりことはあるのか。

米岡こども家庭支援課長：保育園から保護者にまずアプローチをしますが、保護者が全く納得されていない場合、相談は非常に困難です。保護者が納得した上で、保護者から区役所に連絡をいただき、個別相談や希望により療育センターをご紹介という流れになります。

みわ議員：小学校就学時健診会場での放課後の居場所スタッフによる相談ブースの設置について、特別支援学校ではこの取り組みはないのか。

飯田学校連携・こども担当課長：港南台ひの特別支援学校では、学校入学説明会において、放課後について、はまっこふれあいスクールが利用できることを丁寧に説明させていただいております。今年度の入学人数は9名で、個別のケースを学校側も把握する必要があるため、個別に保護者の方に対応しております。したがって、就学時健診自体が組み込まれておりません。

瀬之間議員：ペット手帳の作成時期・配付方法と配布先を伺いたい。

待永生活衛生課長：8月末を予定しており、各地域防災拠点の訓練時及び区内の動物病院などで無償配付する予定です。

瀬之間議員：犬の登録数はおよそ1万頭で、今は猫ブームとも言われ3,000部ではすぐになくなってしまわないか。

待永生活衛生課長：想定される頭数からみると数は十分でないですが、まずは3,000部作成し、今後につきましては区内協力企業にも打

診しながら増刷も考えています。

瀬之間議員：実際の災害時などに携帯するのか。

待永生活衛生課長：手帳の中身は、災害に備え日頃から飼い主さんの準備や心構えを記載しているほか、写真等でペットの飼い主さんを確認できるようになっていますので、避難時には携帯いただくことを想定しています。

瀬之間議員：野菜の直売会は何処で行っているのか。

川井区政推進課長：区役所の別棟の駐車場のスペースにテントを張り開催しております。

田野井議員：防犯・防災について、今は信じられない事件が起こる状況において、防犯カメラによって逮捕につながることもあるが、区内の防犯カメラの設置数を把握しているか。

齊藤区長：防犯カメラの台数は区役所では把握しておりませんが、日々警察と各部署で連携しており、今後防犯カメラについて勉強させていただいた上で警察と取り組んでまいります。

田野井議員：コンビニ、道路、車の動態など、今は情報がすぐわかるのでお互いが連携して情報を的確につかむことは、重要な支え合いだと思うので、前向きにとらえ未然に防げる犯罪は防いでいくべきである。

次に避難訓練の中でもHUG訓練（避難所運営ゲーム）については、「向こう三件両隣、お互い様」の観点からも重要であると考えますが、現在、地域防災拠点においてHUG訓練はどの程度進んでいるのか。

佐藤総務課長：HUG訓練ですが27年度の実績としては31拠点中2拠点において行われました。先日行われた地域防災拠点運営委員会連絡協議会の中で、HUG訓練の実施をお願いしました。避難所運営については、熊本地震での被害対応の中で大きく影響が表れていますので、少しでも日頃からの備えを進めるため、啓発を進めたいと考えています。

田野井議員：各自治会町内会も含め、もう一步踏み込んだ指導・説明をよろしくお願ひしたい。

発達障害について、小学校低学年では認めたくない親御さんもいるが高学年になると如実に出てくる。適時適切な指導が重要であり、良いところを伸ばすためにも、南部学校教育事務所と

連携を深めていただきたい。

保育所待機児童対策について、保育園が駅前に集中している中で、騒音、例えば公園での遊びや運動会の音で問題が起きている。子ども達の発達段階では大きな声は元気な証拠だと思うが、保育園や公園の騒音の苦情の実態はどうか。

飯田学校連携・こども担当課長：待機児童対策で保育所を作りますと、近隣の方々から、うるさいとの声が出てきます。ご理解のある方の方が多いのですが、そういった方は何も言って来ないものです。園庭で遊ぶ際の声についても、あるべき姿ではありますが、声が耐えられない方がいらっしゃいます。我々は苦情がある度に保育園に出向き、状況を確認しています。待機児童対策は、騒音問題の解決策がない中では、実際に先にお住いの方々に配慮しながら適切な場所を見つけ対応しなければならないので、こども青少年局と連携しながら進めてまいります。騒音問題については、ご理解いただくことをまずは第一としながら進めたいと考えております。

田野井議員：今は横浜市民間保育所設置認可等要綱の中に近くに公園があれば良いとされているが、公園で遊んでいるとうるさいという声があれば、何か対応しなければならない。また、駅前に集中して整備となると保育園は保育士確保などが大変な状況にある。保育園同士も保育士確保の競争にさらされるので、これらを踏まえ待機児童対策を進めて欲しい。

安西議員：発達障害相談会を新たに実施とのことだが、28年度9月に5回行う意図は何か。

米岡こども家庭支援課長：確認させていただき、後日報告します。

(後日報告内容：発達障害相談会は5回の連続で1コースとなっており、子どもとよりよい関係をつくっていくために、具体的な対処法やコツを保護者が学ぶ講座です。)

安西議員：スクールゾーン対策協議会で以前出た要望とその進捗状況を区として全体把握をしているのか。

黒田土木事務所長：年度ごとの進捗について全部把握しています。

安西議員：その上で、今路面の表示が消えていると、地域から要望を受けているが、県内の各地域で消えているところが多いと、報道もされているが、区としてどうか。

黒田土木事務所長：交通規制の表記については警察になりますが、県内で横断歩道が薄くなっている所で事故が起こっていることがニュースでとりあげられています。県警は 28、29 年度それらを重点的に見直していくという動きを取っているので、土木事務所も警察に協力し歩調を合わせながらやっていくことになっています。一斉に全部やるのは難しいので、交通量の多い道路から優先していくこととなります。

安西議員：スクールゾーンについて、港南区内は小さいお子さん・高齢者・自転車の事故等が多いということなので、対策ができる予算が付いた時に、その限られた予算を効果的に使うために、スクールゾーン対策協議会のデータと警察との調整を良くしていただき効果的な対策となるように活かしていただければと要望する。歩行者サポート事業について、現場では頻繁ではないが手すりのニーズはまだあり、大事な事業である。現場の方の中に、今決められている手続きを知らない方が多くいるが、公表されている申請手続きなどあるのか。

渡辺土木事務所副所長：今年の 4 月の区連合町内会長連絡協議会定例会で周知の仕方、情報の集め方についてご説明しております。その後単位町内会等に資料を配っております。

安西議員：地域の状況により伝わり方に時差があるのが現実だと思うので流れが公にできるものであれば、ホームページ等に広く活かすことを要望する。

みわ議員：災害時に避難所開設情報をツイッターで提供とのことだが、どのようにアクセスするのか。

川井区政推進課長：区役所ホームページのトップ画面の右列に港南区災害情報 Twitter ご案内ページへのリンクがございます。インターネットを利用できる環境で、パソコンあるいはスマートフォンからアクセスできます。

<議題 2>

なし

備 考